

令和元年度国保制度改善強化全国大会

令和元年11月28日（木）に、令和元年度国保制度改善強化全国大会が、東京の日本消防会館で開催され、9項目の決議が満場一致で採択された。

大会会長である国保中央会の岡崎誠也会長が挨拶で「国保制度を取り巻く状況は依然として厳しい。われわれ国保関係者は保険者機能を発揮し、引き続き全力で事業運営に努力していく所存である。」と述べられ、決議の実現を求めた。

【決議】

- 医療保険制度の一本化を早期に実現すること。
- 国保の財政基盤強化のための公費投入の拡充を行うこと。
- 普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後もその機能を維持し、見直しを行わないこと。
- 子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料（税）の軽減制度の創設を行うこと。
- 保険者努力支援制度等の保険者インセンティブが有効に活用されるよう、財政支援をはじめとした必要な措置を講じること。
- 健康寿命の延伸に向けた地方自治体等の健康づくりの取組を推進するため、KDBシステム等を活用した保健事業への支援を更に充実させること。
- 医師をはじめとした医療・介護人材の確保、地域偏在の解消のため、必要な措置を講じるとともに、地域医療構想の推進に当たっては、公立・公的医療機関の果たす役割を十分踏まえて地域医療の確保に努め、併せて十分な支援策を講じること。
- オンライン資格確認システム等の構築に向け、国の責任において財政支援をはじめ必要な措置を講じること。
- 国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

大会終了後、決議の実現に向け、政府・与野党へ陳情活動を展開した。（本県は以下の対象者）

◎代表陳情対象者：総務省班（高市早苗総務大臣他13名）

◎地元陳情対象者：衆議院（小林茂樹衆議院議員、田野瀬太道衆議院議員、奥野信亮衆議院議員）

参議院（佐藤啓参議院議員、石田昌宏参議院議員、堀井巖参議院議員）



齋藤洋明総務大臣政務官（中央）に陳情書を手渡す森川裕一副理事長（明日香村長）